

メラミンタイル 施工説明書

2019.12.09 改定

◎メラミンタイルは塩ビタイルと取扱方法が異なります。

- 施工前にこの施工説明書をよく読み、正しく施工してください。
- ◎施工される前に品番および輸送時の破損・傷の確認をお願い致します。その後の責任は負いかねますのでご注意ください。
- ◎当製品は、建築基準法・火災予防条例などの法令・法規に従い、施工してください。
- ◎若干寸法にバラツキがあります。施工の際はご注意ください。
- ◎メラミンタイルは環境の変化により伸び縮みがあります。必ず標準工法、注意事項に従って施工してください。(目隙や突き上げの原因となります)
- ◎メラミンタイルは屋内床用途です。屋外への使用は出来ません。
裸足歩行される用途には四面面取りタイプのご使用をお勧めします。
- ◎水がかりの激しい箇所への使用は出来ません。
- ◎仕上げ済みの床への重ね貼りはしないでください。
- ◎フリーアクセスフロアへの施工はしないでください。
- ◎湿気を帯びた下地や施工後に湿気を帯びる可能性のある下地には施工しないでください。
(剥がれや浮きの原因となります)
- ◎接着剤は専用接着剤を使用し、10℃以下の環境では施工しないでください。
- ◎箱から出して室温になじませ、平滑面に置き直し等を実施し、癖取りをしてから施工してください。
- ◎下地は必ず平滑にし、表面の汚れ、異物、突起物は完全に除去してください。
(剥がれや浮き、目違いの原因となります)
- ◎施工中、施工後の養生期間中には換気を行ってください。
- ◎施工後は全面を念入りにローラー等で圧着してください。
- ◎専用接着剤については、SDSにて詳細な安全情報をご確認ください。
- ◎当製品は接着剤による直貼り施工にのみ対応しております。ビス・釘の使用はしないでください。
(表面のひび・割れの原因になります)
- ◎本製品は、事業者を対象とした業務用製品です、廃棄する場合は各自治体の分別に従って廃棄処理してください。(メラミンタイル/廃プラスチック、ダンボールケース等/紙類) (各種 専用接着剤)

⚠ 安全についてのご注意

下記の注意事項は、ケガや事故を事前に防止するためのものですので、必ずお守りください。

注 意 事 項

- 指定の専用接着剤以外は使用しないでください。
- 下地施工は材料メーカーが指定する方法を厳守してください。

剥がれ・浮きの
恐れ

- 運搬・作業時には滑り止め手袋を着用してください。
- カット・加工した端部で手を切る可能性があるため、必ず端部をサンドペーパー等で面取りしてください。
- 使用する専用接着剤には有機溶剤が含まれていますので、使用時には換気を十分に行ってください。

けがもしくは
健康障害を
生ずる恐れ

製品仕様

品名	厚み	サイズ	梱包入数	重量
メラミンタイル	3mm	150mm×900mm	20枚 (2.70m ²)	15.4kg/ケース
		450mm×450mm	14枚 (2.83m ²)	16.2kg/ケース

別売り施工部材		サイズ・容量	標準施工量	梱包入数
専用接着剤	リリカラセメントU (ウレタン樹脂系)	91272 16kg/缶 91273 5kg/缶	300~350g/m ² (16kg → 45m ² 分) (5kg → 14m ² 分)	1缶
	アイカ工業(株)製 JB-63N (エポキシ樹脂系)	主 剤 A:10kg/缶 硬化剤B:10kg/缶	600g/m ² (20kg → 33m ² 分)	1セット/ケース

※ 専用接着剤リリカラセメントU、JB-63NはF☆☆☆☆です

加工工具

- ① 切断加工 カッター
- ② 穴あけ加工 ドリル、ホールソー
- ③ 仕上げ サンドペーパー、ヤスリ
- ④ 圧着 金属ローラー、端部抑えローラー、Tローラー、トーチランプ※

※トーチランプを使用する場合は加熱しすぎると焦げたり溶けて変形することがあるのでご注意ください。

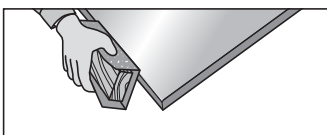
メラミンタイルのカット方法



- カットは表面から行ってください。
- カッターは一度に切り込まず、数回に分けて刃を入れてください。
- カット面にバリが生じた場合は、サンドペーパー等で軽く面取りしてください。

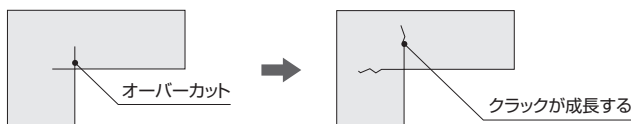
ご注意 施工精度に影響を及ぼさないために、カット木口面の処理を行ってください。

※カット面が壁側になるように貼り付けて下さい。
 ※カット面の突付け施工は、仕上り精度にご注意ください。
 ※メラミンタイルは材質が硬めです。施工前に試し切りを行い、カット性等をご確認ください。



切り欠きの 注意点

- メラミンタイルの切り欠きカット時にはねじる・ひねるなどの負荷を加えると、オーバーカット部分をきっかけに割れ・クラックが発生します。切り欠きはピン角部分の製品表面および裏面をトーチランプで加熱し、メラミンタイルを柔らかくすることで、クラックを抑制することができます。
- カット後のバリ、カケは、クラックの原因となる場合があります。カット面をサンドペーパー等で平滑にしてください。



下地の状況(湿気や平滑性、強度等)によって、メラミンタイルの施工条件や仕上がり具合は左右されます。特に下地湿気や吸水性は接着に非常に大きな影響を与えるので注意が必要です。下地の種類・特徴に応じた工法の選択と対処が必要です。

下地の状態が及ぼす影響

- 1 下地湿気** 湿気を帯びた下地や施工後に湿気を帯びる可能性のある下地には施工しないでください。(剥がれや浮き、突き上げの原因となります。)
 コンクリート・モルタル水分計の測定値がグレードⅡb(水分指標10%以上)の場合には施工しないでください。

■下地湿気の測定方法

コンクリート・モルタル水分計による方法：平坦で日光の直射や通風がなく付着物のない場所を選んで水分計で計測します。

コンクリート・モルタル水分計の関係ならびに施工可否

D.MODE測定値 (HI-520-2)	施工可否
グレードⅠ (D.MODE440未満水分指標8%以下)	施工可
グレードⅡa (D.MODE440以上620未満水分指標8~10%)	施工可
グレードⅡb (D.MODE620以上水分指標10%以上)	施工不可

※ 高周波水分計HI-520-2型 D.MODEにて測定。 ※グレード:日本床施工技術研究協議会「コンクリート床下地の表層部の諸品質測定方法・グレード」による。

- 2 平滑性** 下地は必ず平滑にし、異物、突起物は完全に除去してください。目地部の凹凸は下地補修材で埋めて、平滑にしてください。突き付け納まりの場合は下地の不陸精度等の影響を受けやすい為、ご注意ください。
- 3 亀裂** 亀裂にはクラック注入剤を注入してください。
- 4 汚れ** 下地の汚れ(接着剤、塗料、防腐剤、ワックス等)は完全に除去してください。
- 5 表面強度・レイトンス** レイトンス(粉ふき)が有るような脆弱な下地には施工しないでください。
- 6 たわみ** 薄い合板などたわみのある下地には施工しないでください。

下地の種類のチェック

確認事項 ① ~ ⑥ (P.3参照)を確認し、下記に注意してください。

施工可能な下地について

下地種類	注意事項(チェックポイント)	接着剤使用可否	
		リリカラセメントU (ウレタン樹脂系)	JB-63N (エポキシ樹脂系)
モルタル・ コンクリート下地	モルタル・コンクリート下地が十分に乾燥してから施工してください。 不陸・凹凸・亀裂が無いよう、平滑に仕上げてください。 ちり・埃・塗料等が付着していないか確認してください。	○	○
セルフレベリング下地 (セメント系)	セルフレベリング下地はセメント系を使用してください。 粉ふきはないか等含め表面強度に注意してください。 打ち込み厚10mmで常温7日、冬季14日以上と乾燥がおそいので下地湿気にも注意してください。	○	○
木質系下地 (12mm以上の 合板、20mm以上 のパーティクルボード)	たわみがある場合、厚さ12mm以上の合板を目地を違えて施工してください。 下地接合部の隙間・段差・釘頭・ささくれの処理を行い、平滑に仕上げてください。古ペンキ・油・防腐剤・防蟻剤等が塗布されていないか確認してください。	○	○
金属下地 (鉄板)	施工前には必ず防錆処理をしてください。 接着剤はエポキシ樹脂系接着剤(JB-63N)を使用してください。 ビス頭や溶接部の凹凸はサンディング又はエポキシ樹脂系下地補修材等で補修してください。 チェッカープレートなど激しい凹凸はエポキシ樹脂系下地補修材で補修またはモルタルを打設し下地を作ってください。 油分・塗料等汚れが無いか確認してください。	×	○

その他、上記「**施工可能な下地**」に該当しない下地の場合は、必ず当社までお問い合わせください。

適しない下地について

- 湿気を帯びた下地(含水率10%以上)
- 仕上げ済みの床(塗装床、塩ビタイル、セラミックタイル、木質フローリング等)
- フリーアクセスフロア
- 床暖房システム
- セルフレベリング下地(石膏系、樹脂系等)
- 脆く、割れやすいもの(ALC板、石膏ボード等)
- 石材系(人造石、天然石等)

施工方法

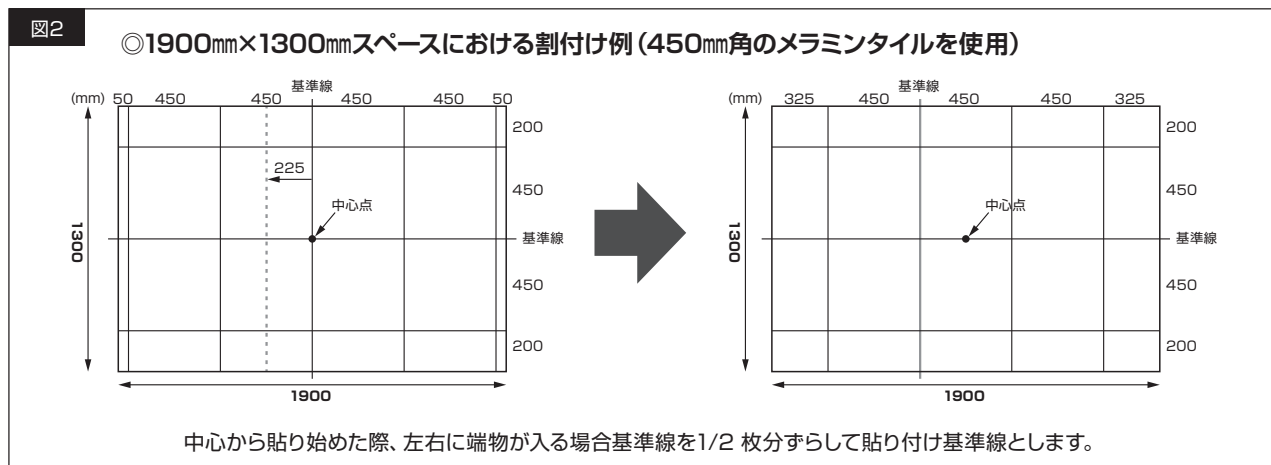
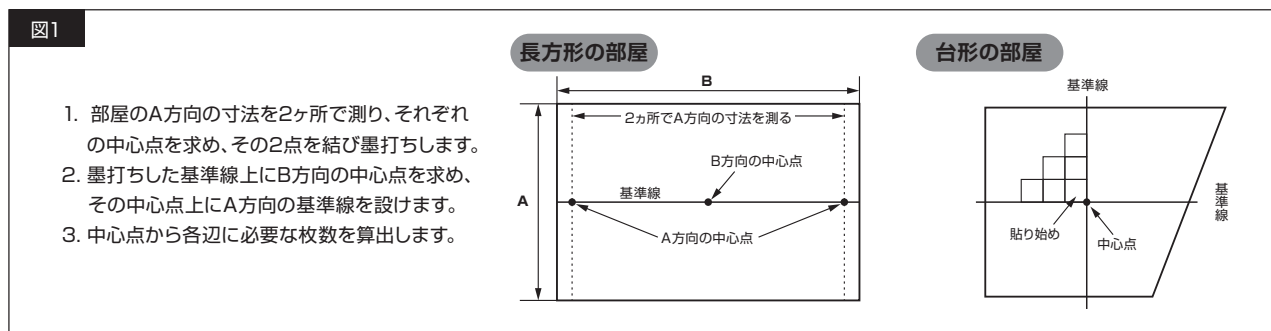
2

納まりの確認

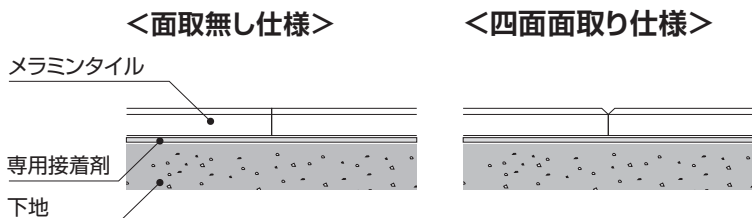
下記の事項に注意して墨出し、割付けを行ってください。

① 墨出し

墨出をする際は、施工する箇所の中心点を定め墨出しを行ってください。(図1参照)
尚、端部のバランス等を考慮した割付けとなるように墨出しされることをおすすめします。(図2参照)



② 標準納まり



手順

- 墨出し線に従ってメラミンタイルを施工してください。
- 突付け部は金属ローラーで念入りに圧着してください。

ご注意

突付け納まりの場合は下地の不陸精度等の影響を受けやすいため、ご注意ください。
裸足歩行される用途には四面面取りタイプのご使用をお勧めします。

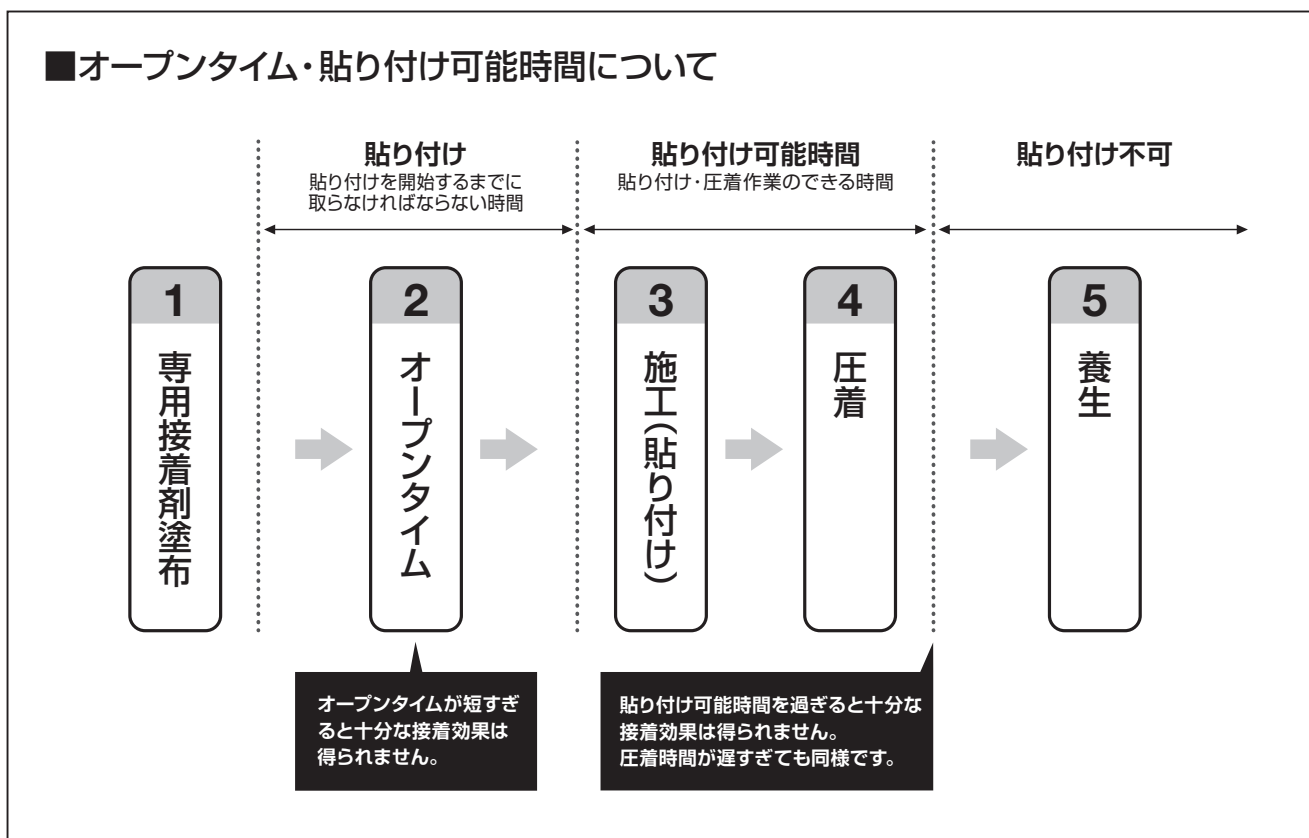
施工方法

3

専用接着剤塗布

下記の事項に注意して、接着剤を塗布してください。

- ①施工する下地の種類、下地の条件、環境に応じて専用接着剤を選択してください。
- ②10℃を超える環境下で施工してください。(10℃以下では接着不良を起こす恐れがありますので施工しないでください。)
- ③湿気のある下地には施工できません。(確認方法はP.3をご参照ください。)
- ④労働安全衛生法、消防法による規制があります。規制に従って施工してください。
- ⑤使用前に、接着剤の容器に記載してある表示事項をご参照ください。
- ⑥メラミンタイルには専用接着剤を使用してください。
- ⑦本製品は保管中経時的に若干の分離が起こることがあります。よく攪拌してからご使用ください。
- ⑧**本施工説明書の専用接着剤のオープンタイム・貼り付け可能時間は、接着剤の塗布量や下地の種類、施工時の温度・湿度・通風の有無などにより変化します。**



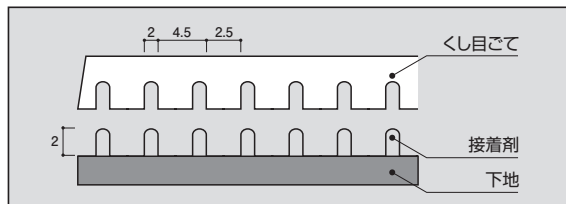
- ⑨メラミンタイルの施工後、ローラーなどで十分圧着してください。
- ⑩接着剤が十分効果を発揮するまでは、水洗い・急激な温度変化・重量物によるしごきなどを避けてください。
- ⑪施工後端部側へ十分に圧着を行いガス抜きを行ってください。(溶剤による膨れが生じることがあります。)
- ⑫一度容器から取り出した接着剤を容器に戻さないでください。

ウレタン樹脂系(リリカラセメントU)の標準塗布方法

- ①下地は平滑に仕上げ、十分に乾燥させてください。ちり・埃・油等はきれいに拭き取ってください。
- ②リリカラセメントUは一液タイプなので原液のままご使用ください。
- ③製品に付属のくし目ごてで均一に塗り広げてください。(標準塗布量:300~350g/m²)
- ④オープンタイムをとり、貼り付け可能時間内で接着を行ってください。(下記参照)

	オープンタイム(目安)	貼り付け可能時間(目安)
夏(25~35℃)	10~20分	40~50分
春秋(15~25℃)	15~25分	50~60分
冬(10~15℃)	20~30分	60~80分

■ 付属のくし目間隔 (リリカラセメントU) (単位:mm)



※1 貼り付け可能時間は湿度の影響も受け、多湿の場合は上記目安時間よりも短くなりますのでご注意ください。

- ⑤貼り付け直後にローラー等で十分に圧着してください。端部等の浮き防止のため、貼り付け後30分以内に再圧着してください。
- ⑥メラミンタイル表面に付着した接着剤は硬化前に濡れたウエス等で拭き取ってください。

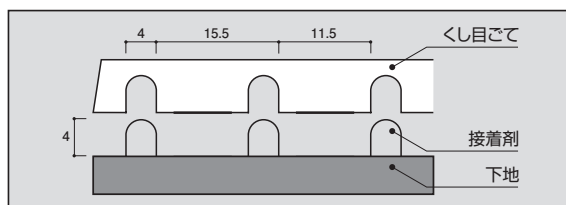
エポキシ樹脂系(JB-63N)の標準塗布方法

- ①下地は平滑に仕上げ、十分に乾燥させてください。ちり・埃・油等はきれいに拭き取ってください。
- ②JB-63Nは二液タイプなので、A(主剤):B(硬化剤)=1:1となるように、容器に取り出し全体が均一になるまで十分に混合してください。
- ③混合を行う際は、下地上で行わないでください。
(混合不十分な接着剤が下地材に染み込み、接着不良やメラミンタイルの変色が生じる恐れがあります。)
- ④製品に付属のくし目ごてで均一に塗り広げてください。(標準塗布量:600g/m²)(塗布量は下地の種類、下地の状態によって異なります。)
- ⑤オープンタイムをとり、貼り付け可能時間内で接着を行ってください。(下記参照)

※エポキシ樹脂接着剤は反応型接着剤ですので貼り付け可能時間以内に施工を完了するようご注意ください。

	オープンタイム(目安)	貼り付け可能時間(目安)
夏(25~35℃)	0~15分	60分以内
春秋(15~25℃)		90分以内
冬(10~15℃)		120分以内

■ 付属のくし目間隔 (JB-63N) (単位:mm)



※1 高温時の施工では接着剤の貼り付け可能時間が短くなりますのでご注意ください。

- ⑥貼り付け直後にローラー等で十分に圧着してください。
端部等の浮き防止のため、貼り付け後30分以内に再圧着してください。
- ⑦メラミンタイル表面に付着した接着剤は直ちに濡れたウエス等で拭き取ってください。

共通



ご注意

接着剤の塗布(くし目)は製品付属の専用くし目ごてを使用してください。

- ①くし目間隔が広いくし目ごてを使用しないでください。 ➔ 塗布量不足の恐れがあります。
- ②くし目高さが低いくし目ごてを使用しないでください。 ➔ 均一な塗布ができず、接着不良の恐れがあります。
- ③平バケは使用しないでください。

施工方法

3

貼り付け・圧着

下記の注意事項を遵守して貼り付け・圧着を行ってください。

- 所定の待ち時間（オープンタイム）をとり、目地ズレの無いように貼り付け直後にローラー等で圧着してください。また、壁際付近の製品端部抑えも専用治具を使うなど入念に圧着を実施してください。
- 貼り付け後30分以内にTローラー（タイルローラー）や3本ローラー（45kgローラー）等で再圧着してください。
- 接着剤などによる汚れや不備な点がないかを確認し、接着強度がでるまで養生期間をとってください。（専用接着剤：48時間）
- メラミンタイル900mm角サイズの場合は2人で施工する事をおすすめします。また、製品中央部の圧着も十分に行ってください。
- 切り欠き部の貼り付け時に、ねじる、ひねる等の負荷を加えると割れ・クラックが発生するため注意してください。



ハンドローラー等を用いて、メラミンタイル床全体、端部や、目地部などを圧着してください。



Tローラーや3本ローラーでメラミンタイルを十分に再圧着してください。



ご注意

施工中と養生期間にはできるだけ温度変化を避けてください。特に接着剤が硬化していない期間の温度変化は床材の突上げ・目地スキなどの原因となります。

- **直射日光を避けてください。**
直射日光により急激に温度が変化すると、メラミンタイルは寸法変化をおこします。自動車のショールームやマンションの掃出し窓では、直射日光の輻射熱による日中と朝夕の温度変化が激しいので、カーテンやブラインドで遮光するなど、直射日光が床面にあたらないように工夫して施工をしてください。
- **施工前に床材を室温になじませてください。**
施工環境温度が適正温度（10℃以上）であっても、施工する床材が冷え切って縮んでいたり巻き癖が取れない場合や、高温で伸びている場合は、温度変化の激しい室内で施工するのと同じ結果をもたらします。2日前には施工する部屋に床材を移動し、室温になじませてから施工してください。
- **高温な場所での施工は避けてください。**
コンクリート下地や空気中の過剰な湿気は床材の接着力低下に伴う膨れや突上げを発生させます。また湿気が汚水となって床材の表面を汚染する場合があります。
- **急激な温度変化に注意してください。**
急激な温度変化が原因で、施工後床材の膨れや突上げを発生させることがあります。

養生

- 養生は2日以上行ってください。
- 重歩行は3日以上（冬期は5日以上）避けてください。



ご注意

施工直後は床養生のシートをはずし、接着剤が完全硬化するまで2日間使用しないでください。

製品の保管について

- 製品は直射日光や雨の当たる場所を避け、風通しの良い屋内に保管してください。
- 地面への直置きは避け、平らな場所で平積みになしてください。
- 高温高湿場所は避けて保管ください。
- 梱包から取り出して保管しないでください。製品が傷つく恐れがあります。

- 改良のため、予告なく仕様及び価格を変更することがありますのでご了承ください。確認は最寄りの当社までお願いいたします。
- 荷受けの際、必ず破損の有無をご確認ください。万一破損している場合は、運送会社の証明をもらい、至急当社へご連絡ください。また、ご使用前に製品に異常がないかも確認してください。（後日に発見された場合は、責を負いかねます。）
- このカタログに掲載されている設計価格は消費税抜きとなります。● 印刷物につき、商品写真と実物とは相違することがあります。
- 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄りの当社へお願いいたします。● 製品は内装専用です。
- 日光がよく当たる部位に製品を使用すると、通常の屋内使用よりも早く経年変化（変色・退色）する可能性があります。
- 本書に収録したものの一部または全部の無断複製・転載を禁じます。

リリカラ株式会社 ホームページアドレス <https://www.lilycolor.co.jp>

- お問い合わせは、最寄りの当社へお願いします。

■ 本社	☎ (03)-3366-7825	FAX (03)-3366-7853
■ 札幌支店	☎ (011)-666-2125	FAX (011)-666-3696
■ 東北支店	☎ (022)-288-3185	FAX (022)-288-3195
■ 大阪支店	☎ (072)-947-3005	FAX (072)-942-7845
■ 広島支店	☎ (0829)-32-4555	FAX (0829)-32-4700
■ 九州支店	☎ (092)-781-8125	FAX (092)-711-1623

M022-00
19.12